



# Market Eyes No.134

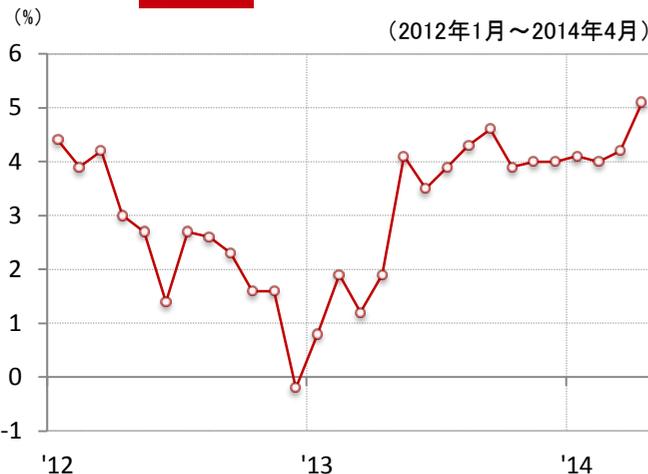
## 『カナダ経済』好転の兆し ～『カナダ・ドル』に追い風～

大和投資信託

### ■ カナダ輸出拡大の兆し

- カナダの実質GDP成長率（前年同月比、季節調整済）は昨年11月以降、プラス成長ながら、成長の伸び率が減速している【図表1】。BOC（カナダ中央銀行）ボウズン総裁は3月18日の講演で『景気は4-6月から徐々に回復が見込める』と語ったが、カナダは景気回復の牽引役を輸出の拡大に求めている。
- 6月19日に発表されたカナダの景況感指数に輸出好転の兆しが表れた。『カナダ輸出開発公社』は毎年、春と秋に国内の輸出企業700社以上に将来（6か月先）の景況感に関して聞き取り調査を行っている。その調査結果を指数化したのが貿易信頼感指数（Trade Confidence Index）である。
- 『貿易信頼感指数』は『GDP成長率』に先行性があるとされる【図表1】。直近の2014年春の同指数は77.2と、4年ぶりの高水準を記録した。調査企業の61%が『今後、輸出は拡大する』と回答し、『減少する』と答えた企業は僅か4%であった。輸出企業の信頼感回復に後追いするかたちでGDP成長率の加速が見込まれる。
- 今回の調査の特徴として、前回調査で指数にマイナスに寄与した『資源・エネルギー』業界が、最も改善率が高く、指数上昇に寄与した。また今回調査の51%の企業が『今後2年以内に新たな輸出市場に進出する』と回答しており、輸出拡大への積極姿勢が見られる。

【図表2】 小売売上高(前年同月比)



### ■ 『個人消費』『資源価格』の回復が追い風

- 国内需要にも好転の兆しが表れている。個人消費の力強さを示す『小売売上高』の4月分が6月20日に発表され、前年同月比+5.1%増と、2年10か月ぶりの高い伸びを記録した【図表2】。
- 1-3月に北米を襲った大寒波の悪影響で、カナダの景気指標は下振れが目立っていたが、4月以降は勢いを取り戻しつつあるようだ。景気回復を印象づける景気指標は『カナダ・ドル』上昇の追い風になりそうだ。
- カナダの主要な輸出品目である資源・エネルギーの国際商品価格が回復基調にある【図表3】。資源国通貨である『カナダ・ドル』は国際商品価格との連動性があり、資源・エネルギー価格の上昇は『カナダ・ドル』の支援材料になってくる。

【図表1】 『GDP成長率』と『貿易信頼感指数』



【図表3】 『CRB商品価格指数』と『カナダ・ドル』



(出所)カナダ輸出開発公社、ブルームバーグ

# 投資信託の留意点

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧ください、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お客さまにご負担いただく費用      ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

## 直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	料率の上限は、 <b>3.24% (税込)</b> です。
換金手数料	料率の上限は、 <b>1.296% (税込)</b> です。
信託財産留保額	料率の上限は、 <b>0.5%</b> です。

## 保有期間中に間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬)	費用の料率の上限は、 <b>年率2.1816% (税込)</b> です。
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 詳細につきましては、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## ファンドのリスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- ◆当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申し込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- ◆当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。